

豊川子ども調査

【調査結果（概要版）】

平成 29 年 9 月

豊 川 市

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 28 年 12 月に愛知県が実施した、子育てに関する市民のニーズや子どもの生活実態を把握するための実態調査と、平成 29 年 2 月に豊川市が実施した調査の回答を合わせ、集計・分析し、実効性のある子どもの貧困対策を行うための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 調査方法

市内の小中学校を通じて調査票を配付し、回収は郵送又は学校回収*で実施した。

*豊川市が実施した調査票の回収は郵送のみ。

3 調査期間

愛知県：平成 28 年 12 月 豊川市：平成 29 年 2 月

4 回収状況

	小学1年生 保護者のみ	小学5年生 児童+保護者	中学2年生 生徒+保護者	全合計
配付数	717	780	733	2,230
愛知県	188	176	180	544
豊川市	529	604	553	1,686
有効回収数	501	489	436	1,426
愛知県	140	111	149	400
豊川市	361	378	287	1,026
回収率	69.9%	62.7%	59.5%	63.9%

Ⅱ 本調査から算出した子どもの貧困率

◆算出方法◆

保護者調査票： 家族の人数
世帯の収入（手取り額）



- 1人当たりの収入（手取り額）を算出
- 国民生活基礎調査の貧困線（平成27年 122万円以下）をもとに、子どもの貧困率を算出
- 豊川市独自の貧困線を算出し、子どもの貧困率を算出

◆算出結果◆

- 国民生活基礎調査の貧困線（平成27年 122万円以下）による、子どもの貧困率
子どもの貧困率：豊川市：5.2% 全国平均：13.9% 愛知県：5.9%
- 豊川市独自の貧困線 137.5万円による子どもの貧困率を算出
子どもの貧困率：7.2%

- 本市の子どもの貧困率は5.2%となっており、国民生活基礎調査の貧困線（平成27年 122万円以下）による全国平均の貧困率の13.9%を大きく下回り、愛知県の5.9%もやや下回っている。また、豊川市が市民一人当たりの手取り額から算出した貧困線（137.5万円）から算出した貧困率は7.2%となっている。

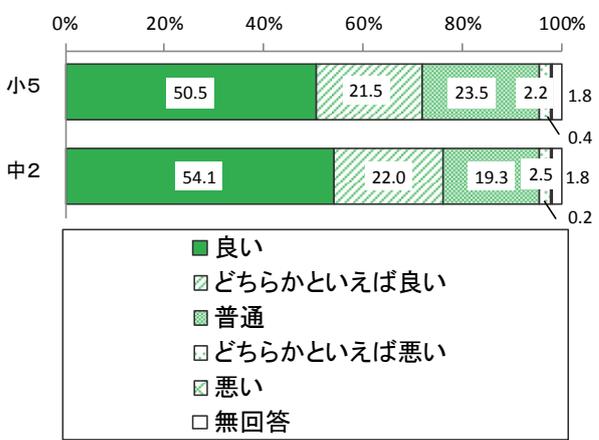
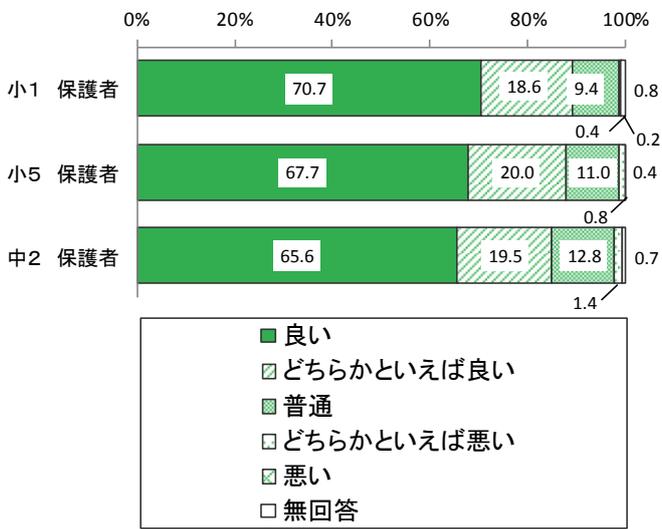
Ⅲ 調査結果

1 子どもの健康・基本的な生活状況

- “子どもの健康状態が良い”（「良い」+「どちらかといえば良い」）と思っている保護者は、小1は89.3%、小5は87.7%、中2は85.1%となっている。
- 子ども本人は“健康状態が良い”（「良い」+「どちらかといえば良い」）と思っているのは、小5は72.0%、中2は76.1%となっており、子ども本人からみた健康状態の方が低くなっている。

保護者：保護者からみた、子どもの健康状態(SA)

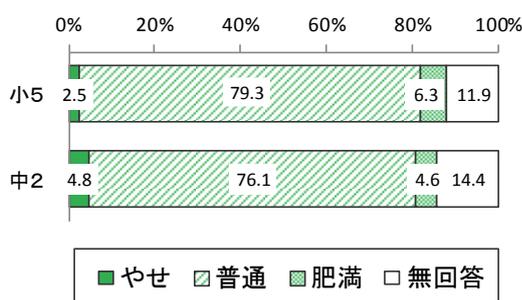
子ども：自身の健康状態(SA)



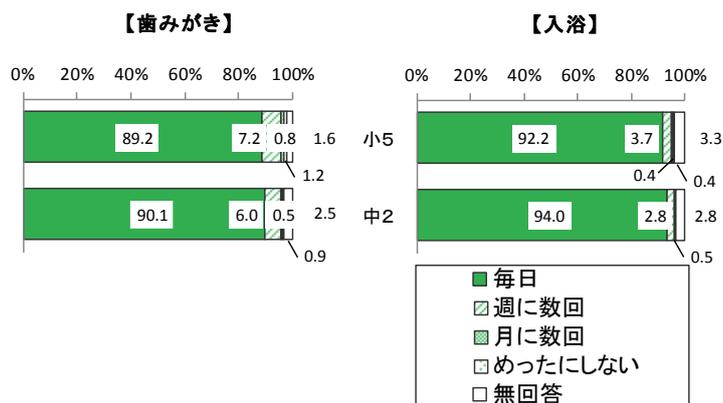
※図表中、「SA」は単数回答、「MA」は複数回答を表しています。

- 「やせ」は、小5が2.5%、中2が4.8%となっている。
- 「肥満」は、小5が6.3%、中2が4.6%となっている。
- 歯みがき・入浴は大半が毎日している。
- 「月に数回」や「めったにしない」は、歯みがきは小5が2.0%、中2が1.4%、入浴は小5が0.8%、中2が0.5%となっている。

子ども: 肥満度 (SA)

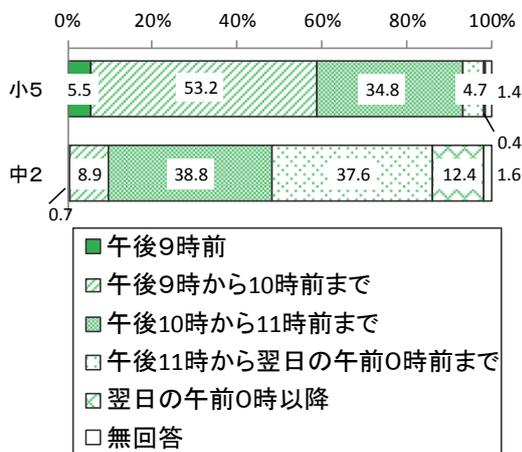


子ども: 歯みがき・入浴 (SA)

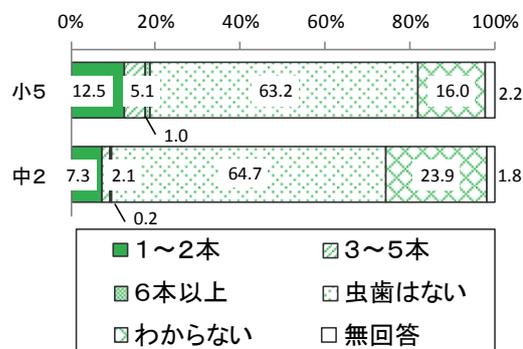


- 小学生の58.7%は、学校のある日は午後10時前までに就寝している。
- 中学生の12.4%は、学校のある日は午前0時以降に就寝している。
- 虫歯がない人は、小学生が63.2%、中学生が64.7%となっている。わからない人は、小学生が16.0%、中学生が23.9%となっている。

子ども: 就寝時間 (学校のある日) (SA)

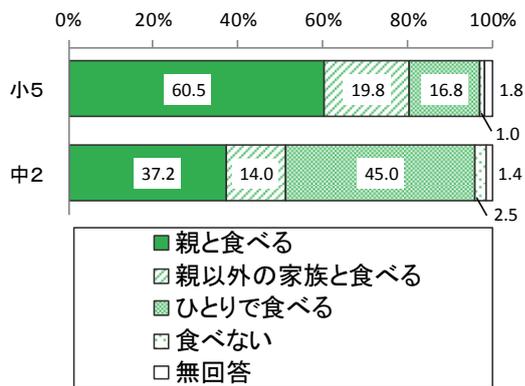


子ども: 虫歯の本数 (SA)

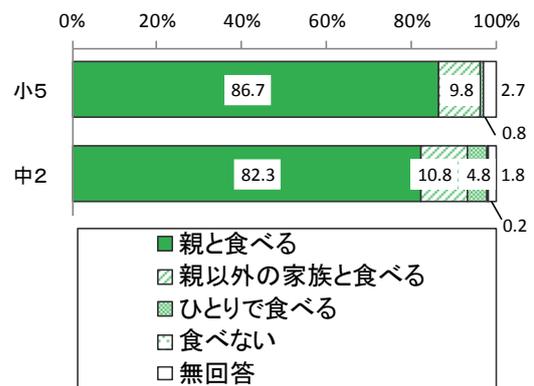


- 学校のある日に朝食を食べない人は、小学生が 1.0%、中学生が 2.5%となっている。
- 学校のある日に朝食をひとりで食べる人は、小学生が 16.8%、中学生が 45.0%となっている。
- 学校のある日に夕食をひとりで食べる人は、小学生が 0.8%、中学生が 4.8%となっている。
- 就寝時間と朝食の摂取状況をみると、子どもの就寝時間が遅いほど、孤食や朝食の欠食率が高まる傾向がある。

子ども:朝食の状況(学校のある日)(SA)



子ども:夕食の状況(学校のある日)(SA)

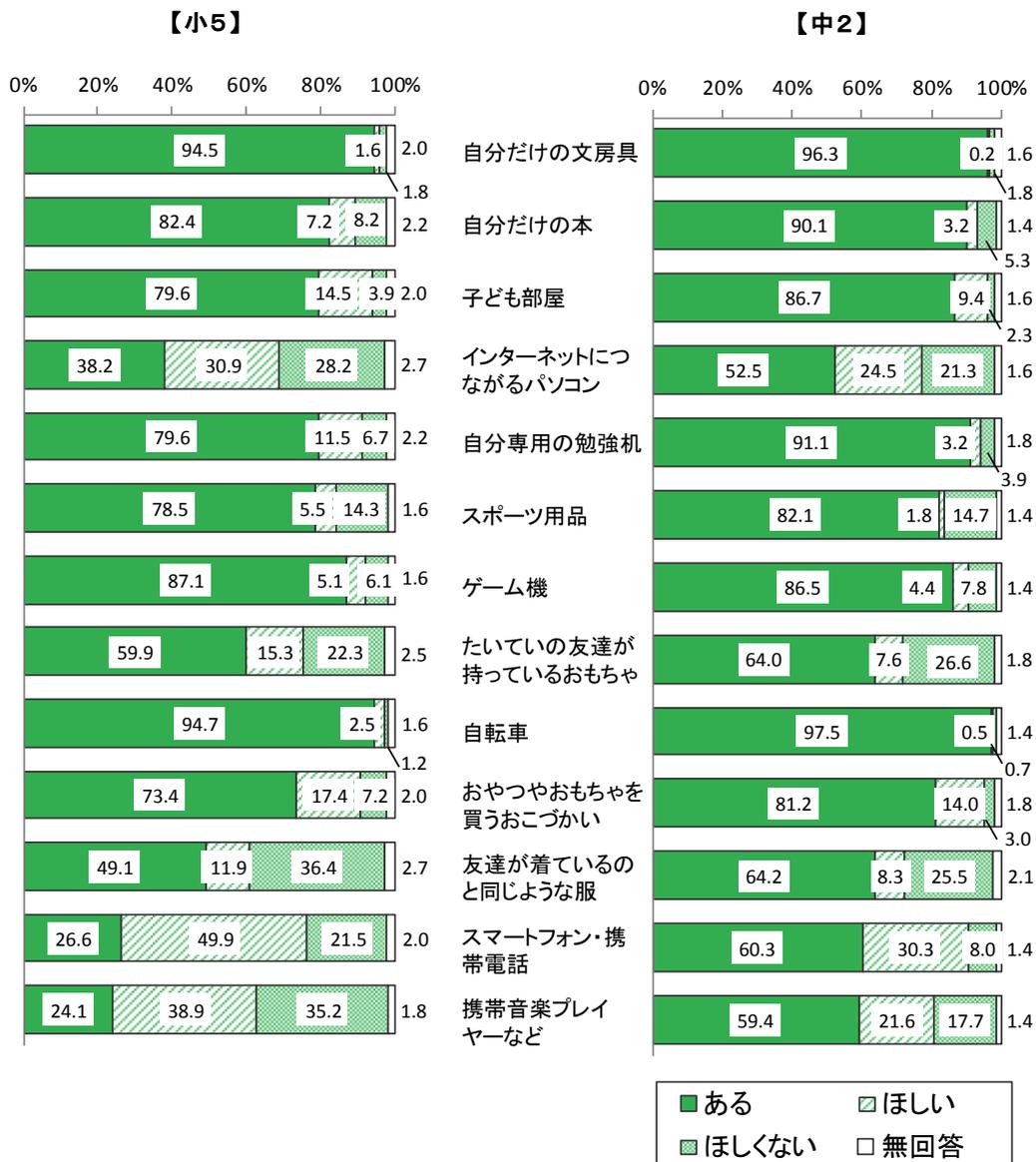


子ども:学校のある日の就寝時間×朝食の状況

		問 8 学校のある日の朝ごはん				
		親と食べる	親以外の家族と食べる	ひとりで食べる	食べない	無回答
問4 の 就 寝 時 間 の 学 校 の あ る 日	午後9時前	73.3	16.7	6.7	-	3.3
	午後9時から10時前まで	62.5	19.7	17.4	-	0.3
	午後10時から11時前まで	50.1	16.2	31.3	2.4	-
	午後11時から翌日の午前0時前まで	37.4	14.4	47.1	1.1	-
	翌日の午前0時以降	16.1	21.4	51.8	10.7	-

- 自分が使うことができるものは、「文房具」「自転車」「本」「ゲーム機」は約 82～98%と高くなっている。
- インターネットにつながるパソコン、スマートフォン・携帯電話、携帯音楽プレイヤーは自分が使うことができる割合は低く、現在はないが欲しい割合が高くなっている。特に小学生では、その傾向が強くなっている。

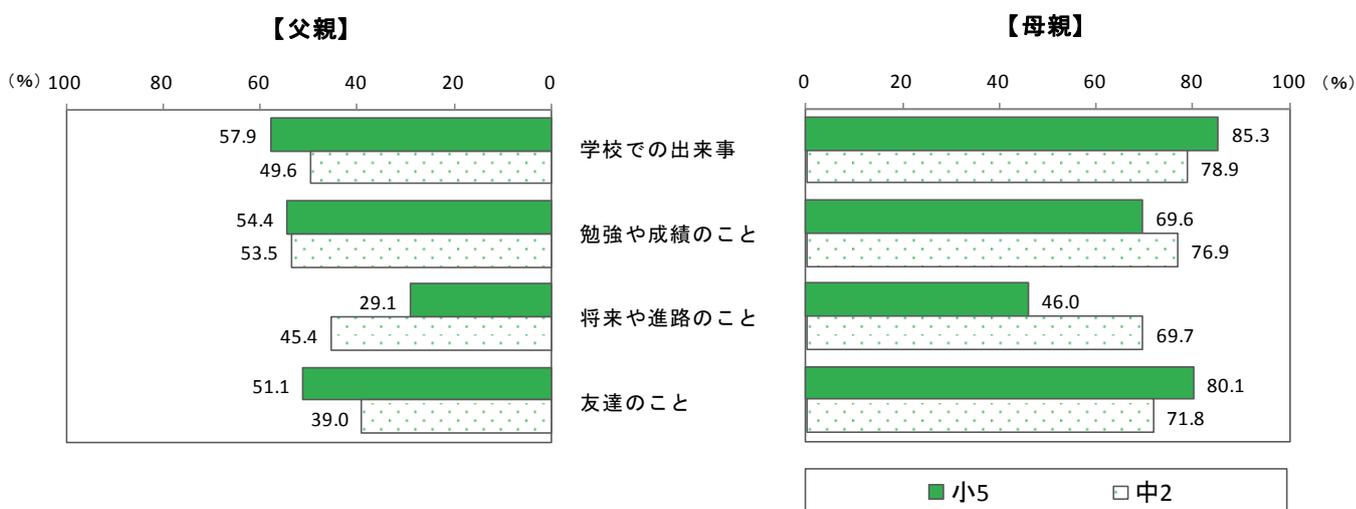
子ども：自分が使うことができるもの（SA）



2 家庭での生活（子どもの親との関わり）

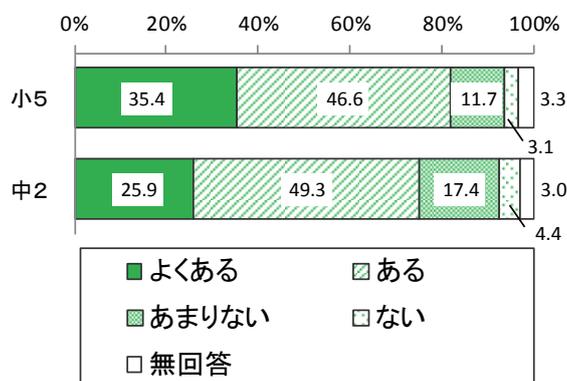
- 小学生、中学生ともに、母親と話をする割合が高くなっている。
中学生では、父親と母親の差がさらに広がっている。
- 「将来や進路のこと」は、中2の父親との会話を除き、「学校での出来事」や「勉強や成績のこと」「友達のこと」を話すより割合が低くなっている。

子ども：父親・母親との会話の頻度（「よく話す」+「ときどき話す」割合）（SA）



- 親から褒められることが“ある人”（「よくある」+「ある」）は、小5が82.0%、中2が75.2%となっている。一方、“ない人”（「あまりない」+「ない」）は、小5が14.8%、中学生が21.8%となっている。

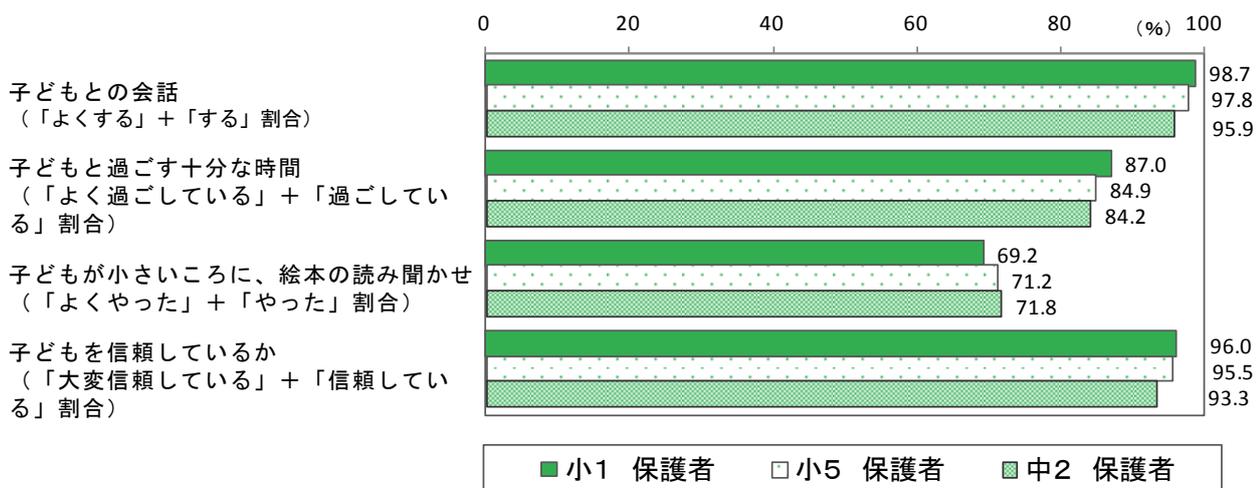
子ども：親から褒められることの有無（SA）



3 保護者の子どもとの関わり

- 保護者は、大半が「子どもと会話をしている」「子どもを信頼している」と回答している。
- 「子どもと過ごす時間」が十分と回答しているのは、約 84～87%となっている。
- 絵本の読み聞かせは、約 69～72%にとどまっている。

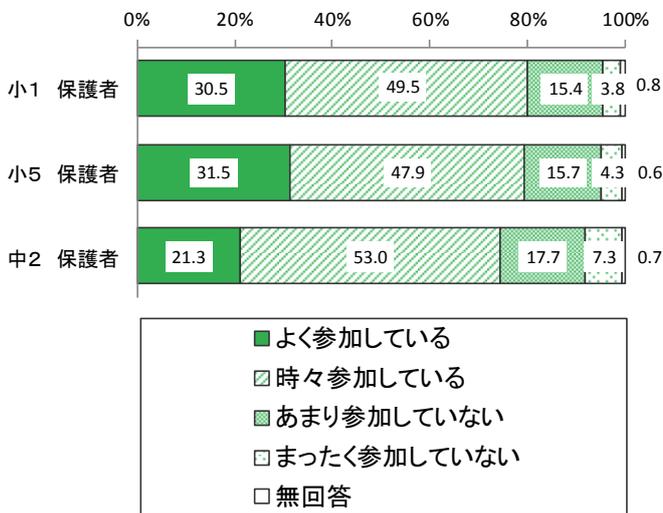
保護者：子どもとの関わり(「よくする」+「する」割合)(SA)



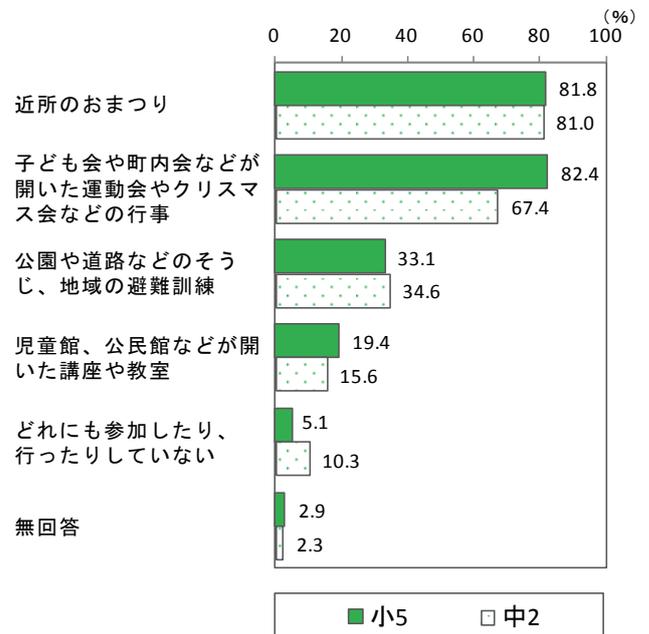
4 地域との関わり

- 地域の行事への参加状況は、“参加している人”（「よく参加している」+「時々参加している」）は、小1は80.0%、小5は79.4%、中2は74.3%となっており、学年が低いほど参加している割合は高くなっている。一方で、“参加していない人”（「あまり参加していない」+「まったく参加していない」）は、小1は19.2%、小5は20.0%、中2は25.0%となっている。
- 小学生、中学生ともに、「近所のおまつり」「子ども会や町内会などが開いた運動会やクリスマス会などの行事」への参加している割合が高くなっている。

保護者：地域の行事への参加状況(MA)



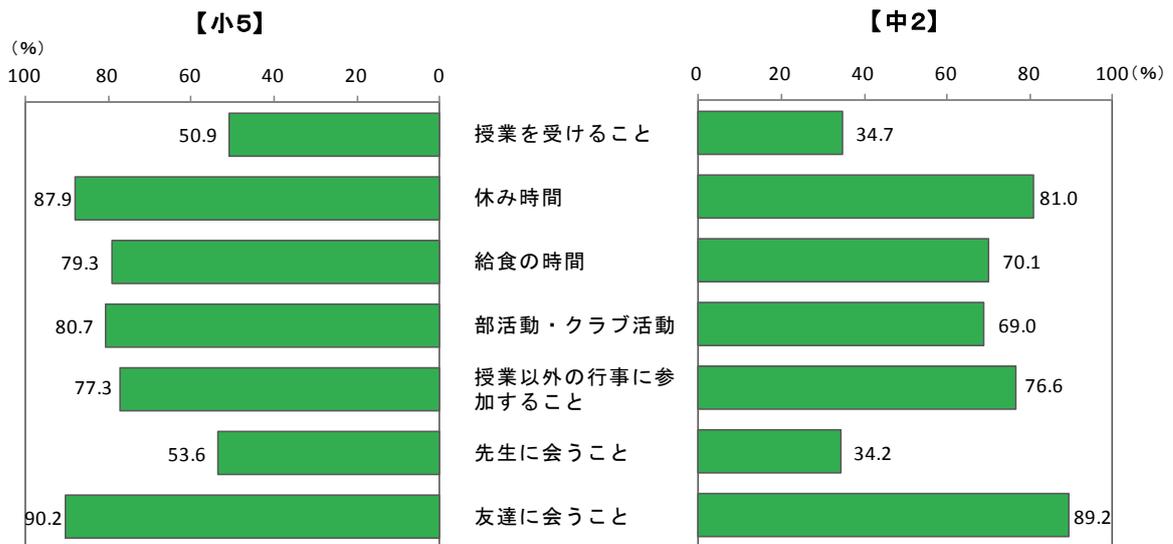
子ども：地域で参加している活動(MA)



5 学校生活や勉強

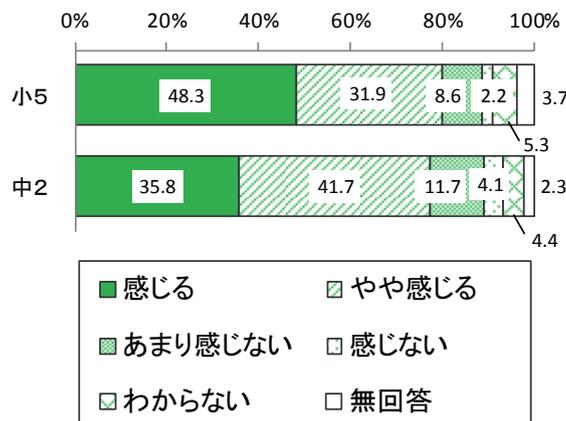
- 学校生活が楽しみとする人は、中2に比べ小5が多くなっている。また、友達と会うことや休み時間をあげる人は、小5、中2ともに多くなっている。
- 授業については、楽しみとする人は小学生で50.9%、中学生で34.7%となっている。

子ども:学校生活について「とても楽しみ」+「楽しみ」割合(SA)



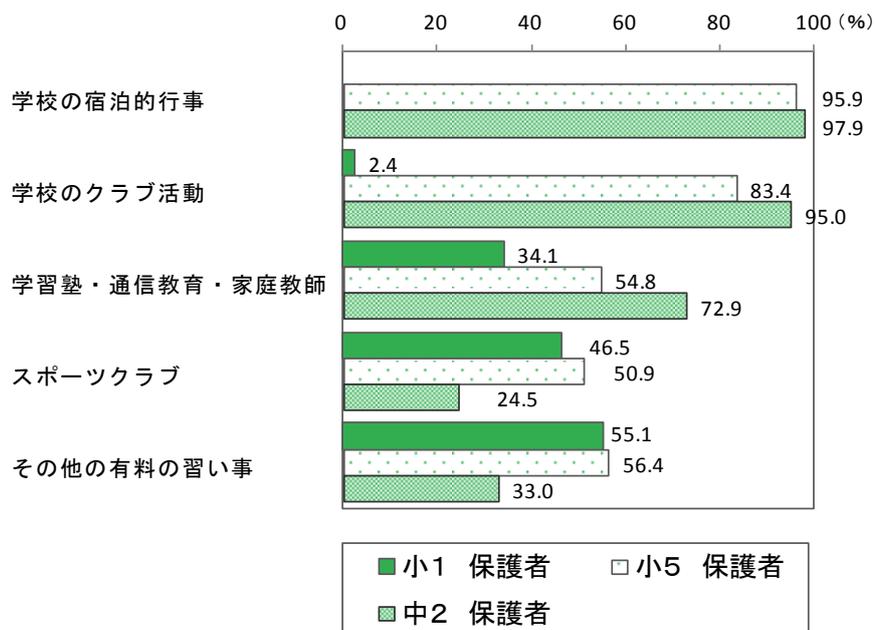
- 学校で勉強することの“価値を感じる人”（「感じる」+「やや感じる」）は、小学生で80.2%、中学生で77.5%となっている。一方で、“感じない人”（「あまり感じない」+「感じない」）は、小学生で10.8%、中学生で15.8%となっている。

子ども:学校で勉強することの価値を感じるか(SA)



- 学校のクラブ活動に参加している中学生は、95.0%となっている。
- 学習塾等やスポーツクラブ以外の有料の習い事をしている小学生は、半数を超えている。
- 学習塾・通信教育・家庭教師を利用している中学生は72.9%、小5でも半数を超えている。

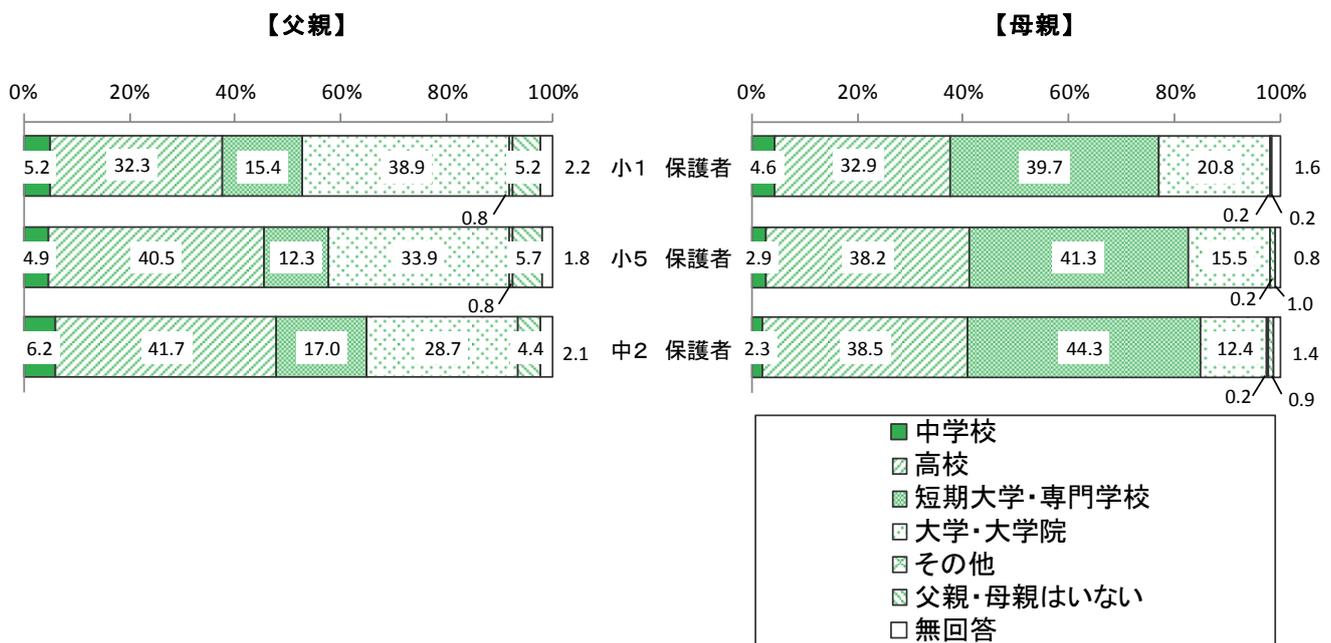
保護者：学校の行事やクラブ活動(部活動)、有料の習い事等をしているか(SA)



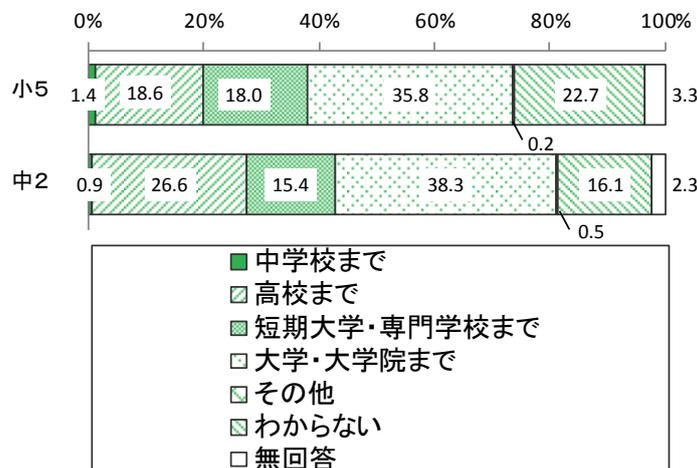
6 保護者の学歴、子どもに期待する教育・学歴

- 親の学歴は、父親は大卒が約 29～39%、高卒が約 32～42%となっている。母親は短大・専門学校が約 40～44%、高卒が約 33～39%となっている。
- 子ども自身希望する進路は、小5・中2ともに大学までが最も高く、それぞれ 35.8%、38.3%となっている。

保護者：最終学歴(SA)

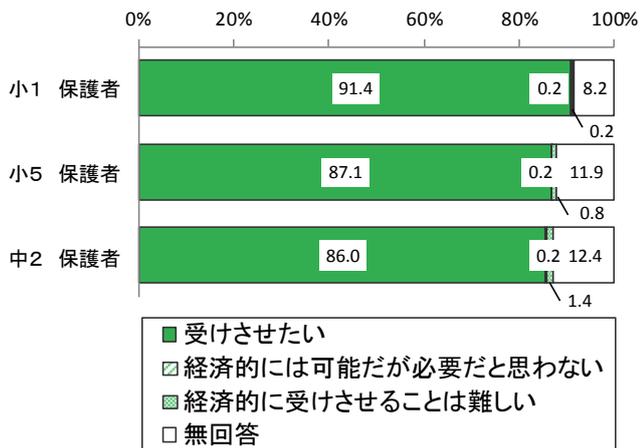


子ども：希望する進路(SA)

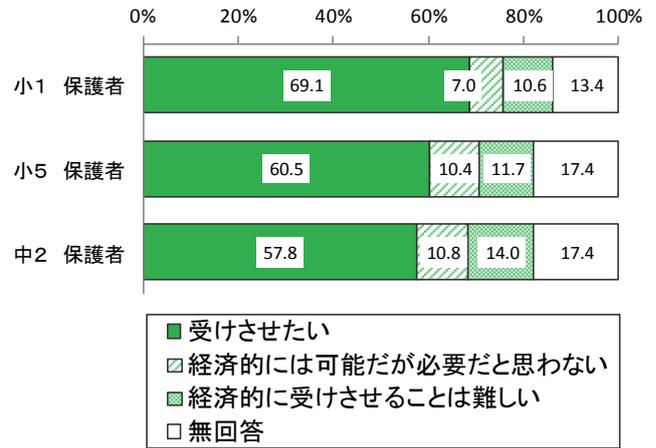


- 子どもに期待する学歴は、高校までが約 86～91%、短大・専門学校までが約 58～69%、大学までが約 57～64%となっており、いずれにおいても学年が上がるにつれ、進学希望は低くなっている。また、経済的な理由で大学までの進学をあきらめている人は、約 19～22%みられる。

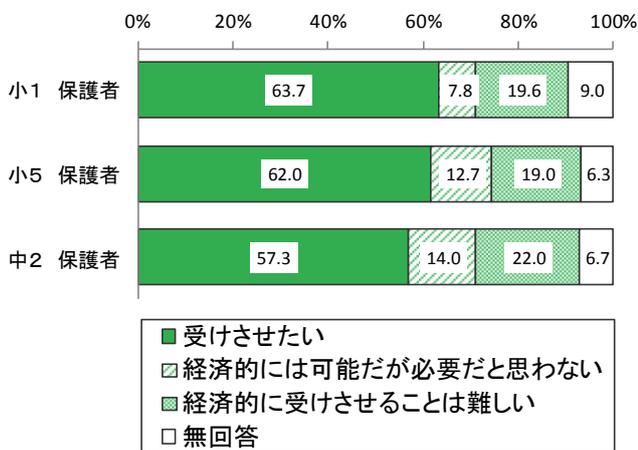
保護者：高校までの教育(SA)



保護者：短大・専門学校までの教育(SA)



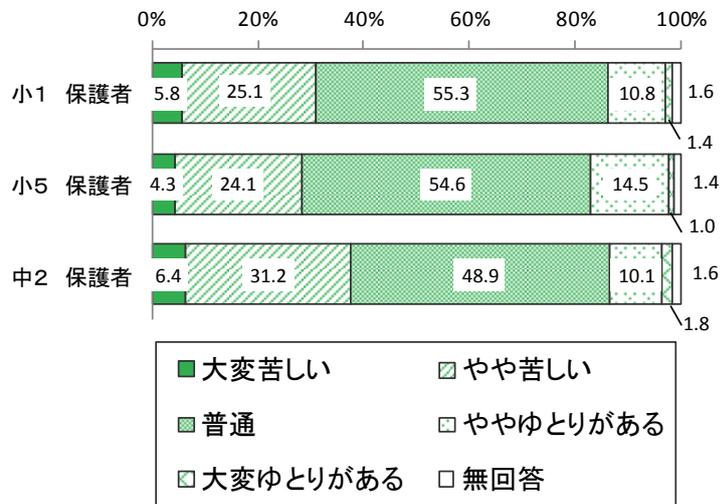
保護者：大学までの教育(SA)



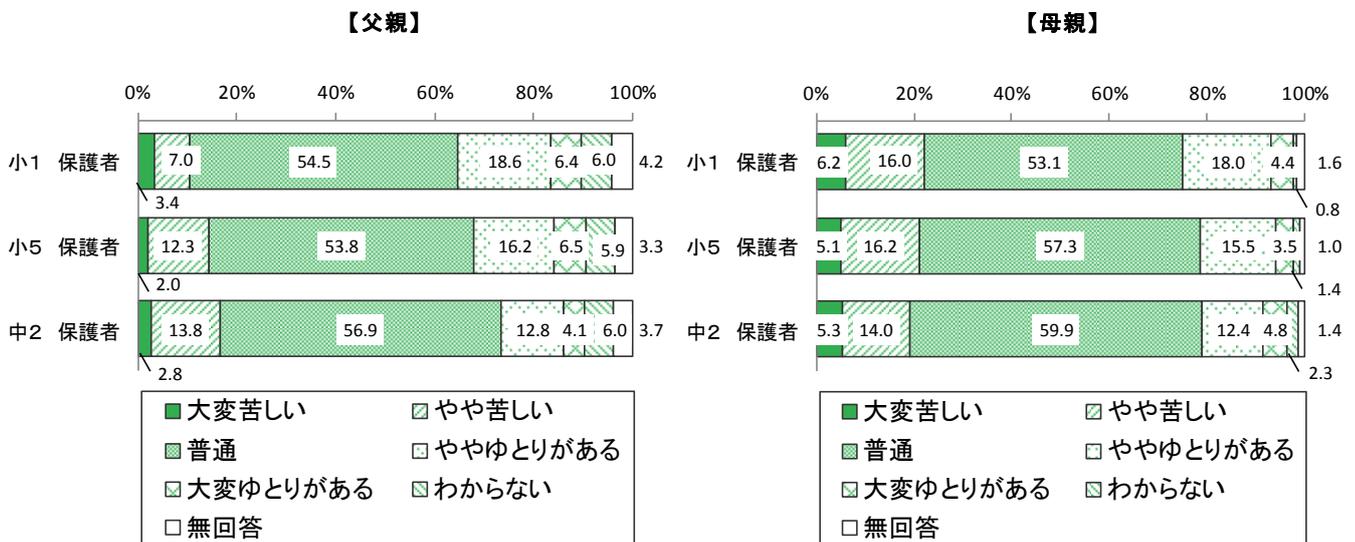
7 現在の暮らし向き・生活状況、保護者の就労状況

- 現在の暮らし向きで、“苦しい”（「大変苦しい」+「やや苦しい」）と回答した割合は、小1・小5が約28～31%、中2が37.6%となっており、小学生に比べ中学生の方が暮らし向きが苦しい割合が高くなっている。
- 父母の15歳の時の暮らし向きで、“苦しい”（「大変苦しい」+「やや苦しい」）と回答した割合は、父親が約10～17%、母親が約19～22%となっている。

保護者：現在の暮らし向き(SA)

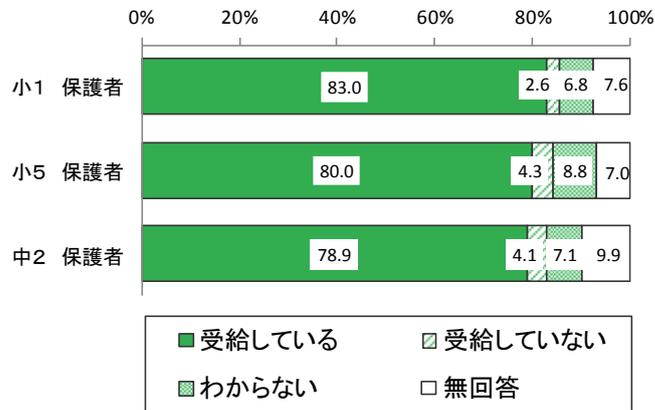


保護者：父母の15歳の時の暮らし向き(SA)



●児童手当を受給している人は、約79～83%となっている。

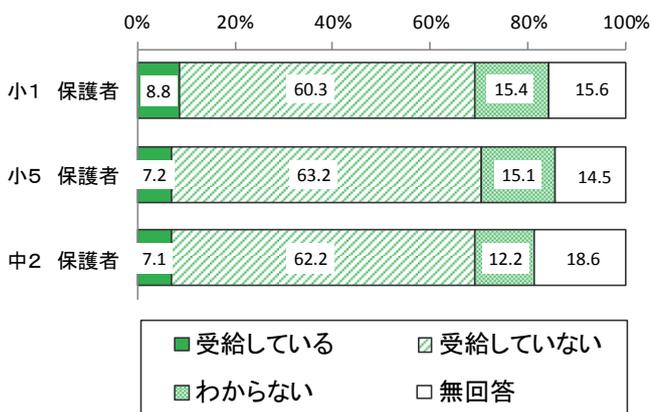
保護者：児童手当の受給状況(SA)



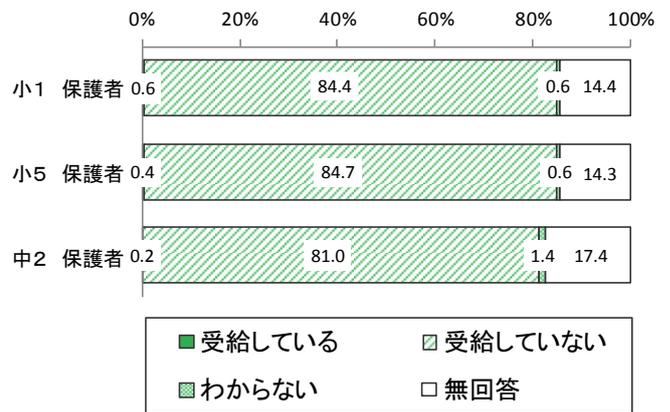
●児童扶養手当・特別児童扶養手当を受給しているのは、いずれも約7～9%となっている。

●生活保護を受給しているのは、0.2～0.6%となっている。

保護者：児童扶養手当・特別児童扶養手当の受給状況(SA)



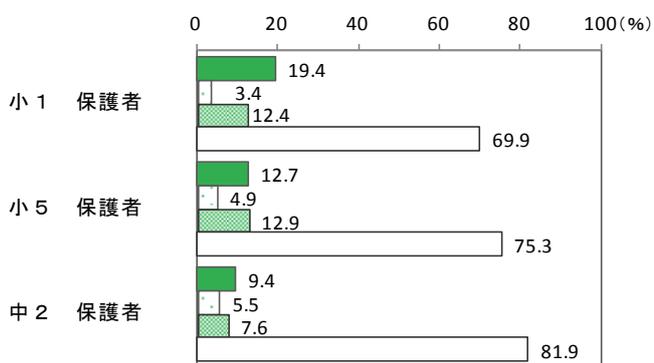
保護者：生活保護の受給状況(SA)



- 経済的に困ったとする人は、小学校入学前が約 9～19%、小学校入学後が約 11～15%となっている。
- 子育ての相談相手がいなかったとする人は、小学校入学前が約 3～6%、小学校入学後が約 3～4%となっている。
- 子どもを預けるところがなかったとする人は、小学校入学前が約 8～13%、小学校入学後が約 7～11%となっている。

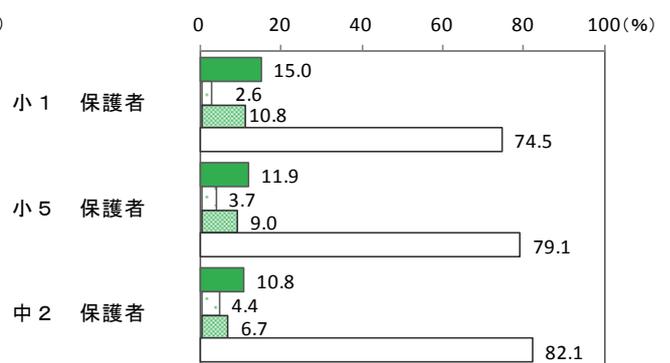
保護者：子どもが生まれてから困ったこと(MA)

【小学校入学前】



- 経済的に困った
- 子育てについて相談する人がいなかった
- 子どもを預けるところがなかった
- 無回答

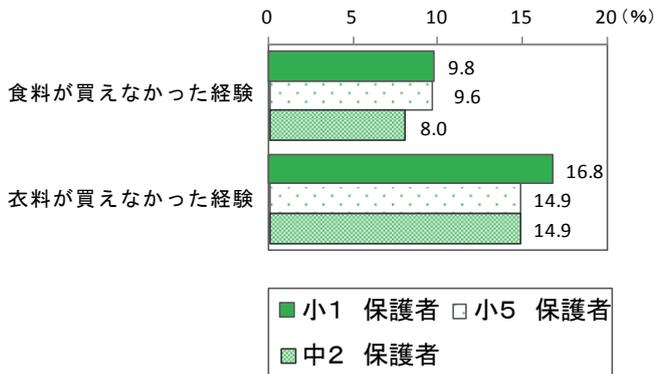
【小学校入学後】



- 経済的に困った
- 子育てについて相談する人がいなかった
- 子どもを預けるところがなかった
- 無回答

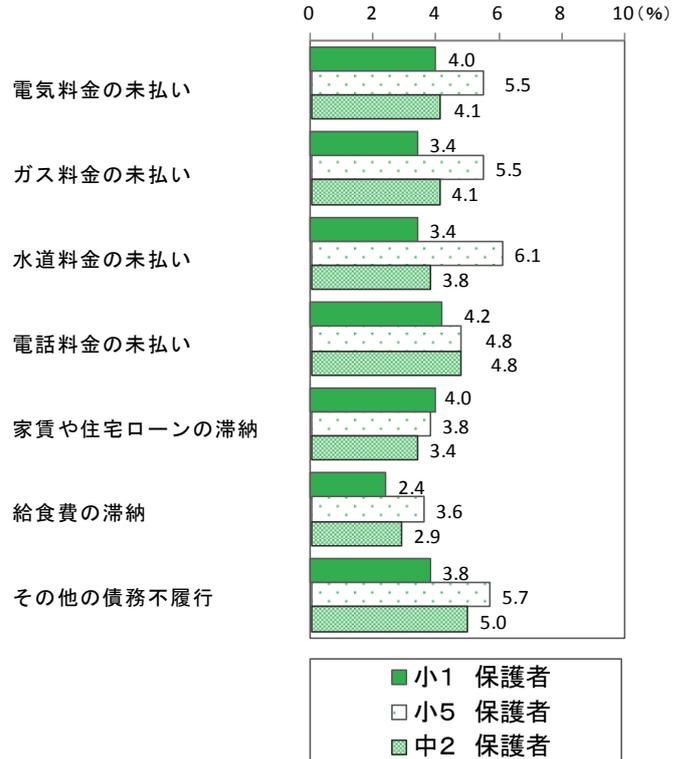
- この1年間に食料や衣料が買えなかった経験がある人は、食料で約8～10%、衣料で約15～17%となっている。
- 公共料金等の未払い経験があるのは、約2～6%となっている。

保護者：食料・衣料が買えなかった経験の有無(SA)



※「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」の合計

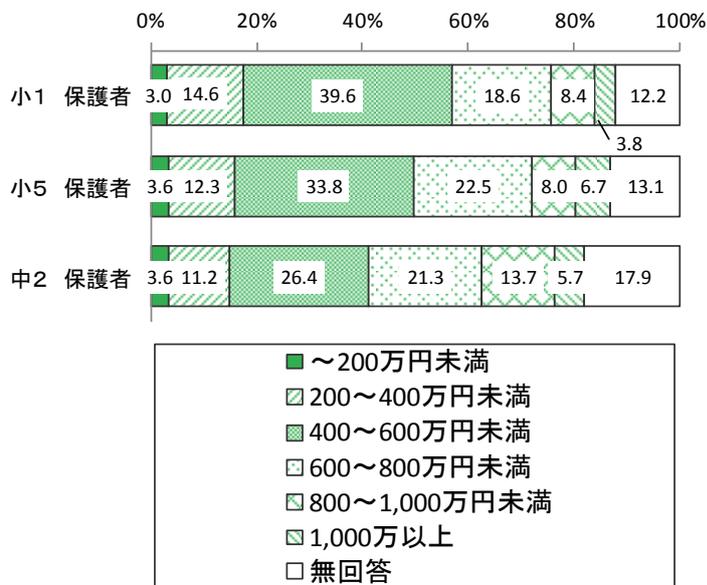
保護者：公共料金等の未払い経験の有無(SA)



※「よくあった」+「ときどきあった」+「まれにあった」の合計

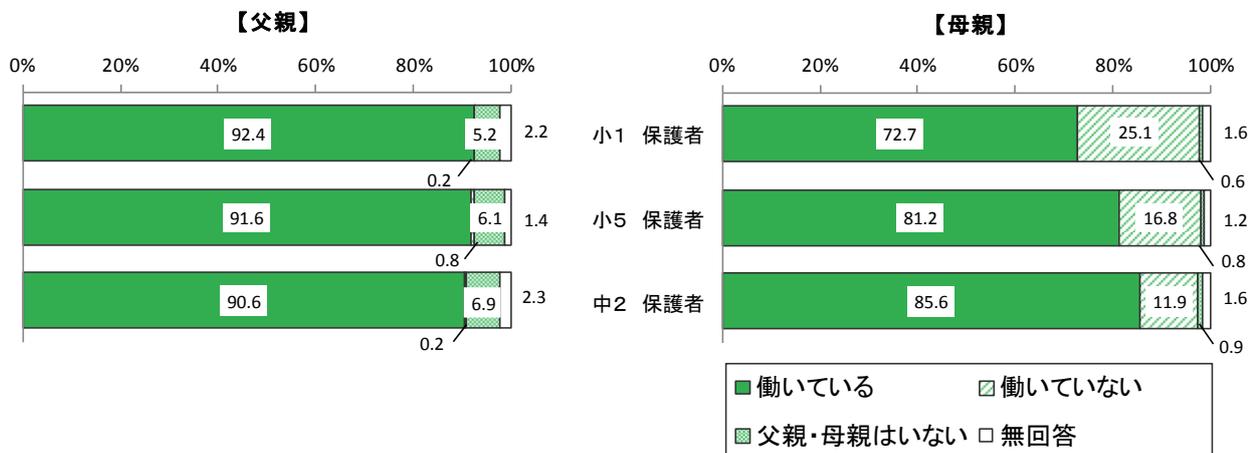
- 世帯年収が200万円未満の割合は、小1、小5、中2ともに約3～4%となっている。
- 小1、小5、中2ともに、400～600万円未満の世帯の割合が最も高くなっている。

保護者：世帯年収（世帯全体の年間、ボーナスを含む手取り額（SA））



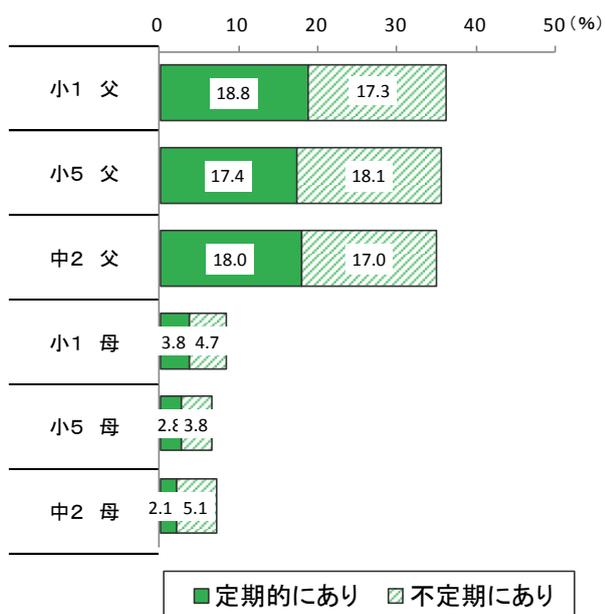
- 働いている父親は、約91～92%となっている。
- 働いている母親は、約73～86%となっており、子どもの年齢が高いほど就労している割合も高くなっている。

保護者：現在の就労状況（育児休業等は「働いている」とみなす）（SA）

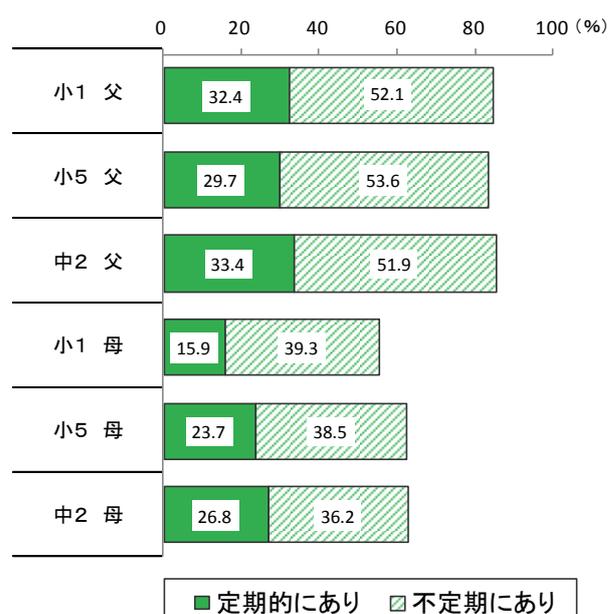


- 深夜労働（22 時以降）があるのは、父親が約 35～36%、母親が約 7～9%となっており、父親の約 17～19%は定期的に深夜労働がある。
- 土日・祝日出勤があるのは、父親が約 83～85%、母親が 55～63%となっており、父親の約 30～33%、母親の約 16～27%は定期的に休日出勤がある。

保護者：深夜労働(SA)



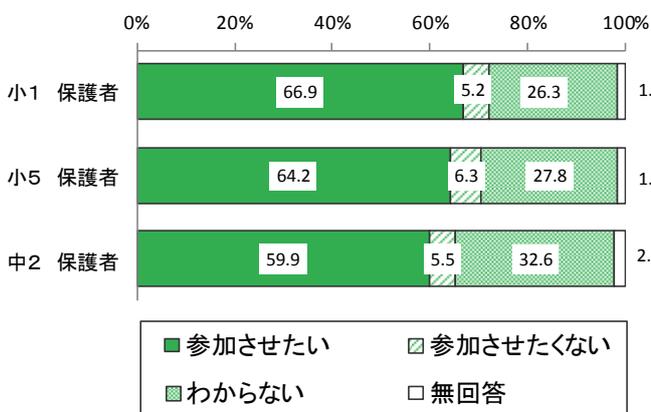
保護者：土日・祝日出勤(SA)



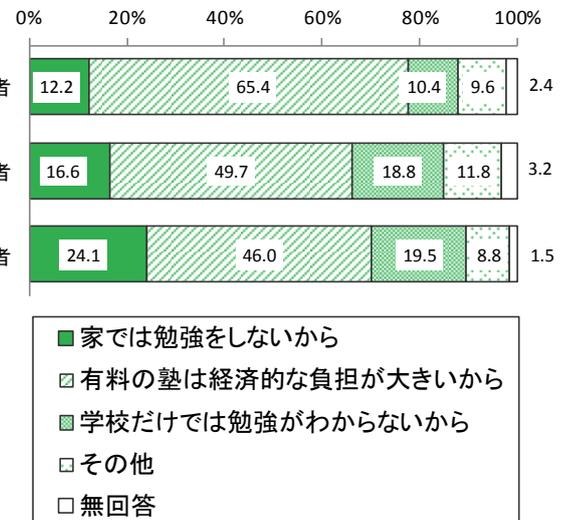
8 福祉事業の参加意向

- 無料学習塾への参加意向は約 60～67%となっており、学年が低い方が参加意向は高くなっている。
- 参加させたい理由としては、「有料の塾は経済的な負担が大きいため」が小1では 65.4%、その他でも約半数を占める。また、「家では勉強をしないから」「学校だけでは勉強がわからないから」は学年が上がるとともに高くなっている。

保護者：無料の学習塾への子どもの参加意向(SA)

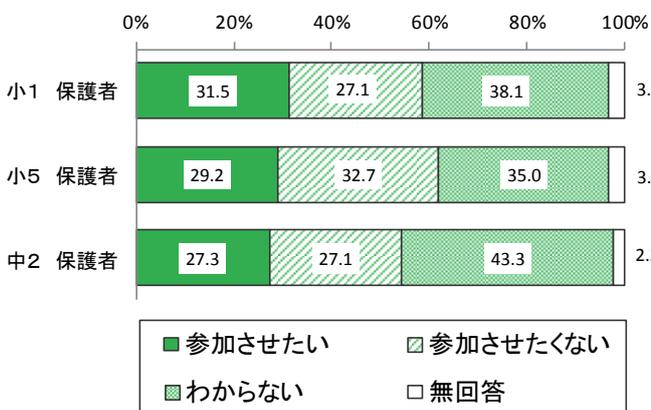


保護者：参加させたい理由(SA)



- 「子ども食堂」への参加意向は約 27～32%となっており、学年が低い方ほど参加意向は高くなっている。
- 参加させたい理由としては、「たまには食事を作るのを休みたいから」が最も高くなっている。

保護者：「子ども食堂」への子どもの参加意向(SA)



保護者：参加させたい理由(SA)

